



ササラ祭り



平成 29 年 9 月 1 日現在

戸数	958
人口	2,368
男	1,190
女	1,178

昨年は公民館改修工事の為行われなかった「ササラ祭り」が

8月14日盛大に開催されました。

今年の夏の天気は変わりやすく、いつ雨が降り出してもおかしくない空模様のもと、大勢の皆様に参加をいただきました。実行委員の皆様も大半の人が本年度新たな役員になられた方々ですが、滞りなく準備を終了し開演の時間を待ちました。

午後5時より事前イベントが開催され大勢の子どもが参加し、内田地区にもこんなに多くの子どもがいるんだと感心しました。輪投げ・スイカ割り・駄菓子屋等、子ども達はそれぞれ思い思いの場所へと：スイカ割りの子ども達は、うまくスイカが割れると笑顔、外れた時の悔しそうな顔、夏の楽しい一日だったと思います。

ササラ踊りの時間が近づくとつれて大人の参加者も増えてきました。開会式の後ササラ踊り実行会の演奏でササラ踊りが始まり来賓の皆様にも踊りの中に

入っていただき、子ども、大人も大勢の皆様方に参加いただき大変盛り上がりました。

内田のササラ踊りは、昭和51年10月21日「松本市重要無形民俗文化財」第1号に指定されています。このササラ踊りの発祥は定かではありませんが、今から約八百年前、当地は馬の産地として栄え朝廷へ多くの名馬を献上していました。そして馬を送り出す「おはやし」(当時

は唄でなく別れを惜しむ身振り手振りのみだったか)が現在唄い踊りつがれているササラ踊りの始まりと伝えられています。人々は手塩にかけた愛馬を見送りながら、ササラ踊りを舞い、別れを惜しんだそうです(この踊りは別れを惜しむ身振り手振りであるうと思われまます)。それが後に盆踊りに変わったものです。(昭和51年12月公民館報88号掲載文より)

イベント最後はビンゴゲームで子ども・大人も盛り上がり、景品が無くなるまで楽しみました。盆行事が、ササラ祭りと同前を変えて数年が経過しているようです。いつまでもこのササラ祭りが途切れることなく続くことを願います。

内田公民館運営委員長 伊藤今朝平

子どものための

防災訓練・宿泊体験

7月30日(日)、内田公民館主催の「子どものための防災訓練・宿泊体験」が開催されました。昨年度は改修工事のため行えなかったもので、二年ぶりの開催となります。

ハイゼックスを用いた炊飯などの、災害時の食体験を経て、講義形式で防災について皆で学習しました。

今回は市の危機管理課の講座のほか、消防署の方より普通救命講習を、内田地区の担当保健師より災害時の感染症予防などのワンポイント講習を行っていただきました。

今年も子どもたちの感想文を一部、紹介いたします。



私にとって2回目の「防災訓練・宿泊体験」では前回とはちがい、きゆうきゆうきゆう命士の方が、心臓マッサージのやり方や、AED(電気ショック)のやり方を、私たちの目の前でやってくださいました。心臓マッサージは、私たちは実さいにやらせていただきました。

地震についてのDVDを見て、松本市は地震のリスクが高いなと思いました。やっぱり地震は、人の命をうばってしまうので、改めておそろしいものだなと思いました。日頃の備えをしっかりとしたいです。

奥原 美桜

ひなんじよでの生活が、災害によってちがうから気をつけて生活するのがだいじ。番号によって電話はかけるところがちがうから、気をつけなると手おくれになつてしまふ。ひじょう食は、カレーもおいしかったし、コーンもおいしかった。

しょうぼうの人形をつかたたくくんが、よくわかつた。

上里 琉星

7月の夏祭り

今年も7町会恒例の夏祭りの季節がやってきました。例年通り、子ども達が夏休みとなった7月30日(日)梨ノ木公民館にて行われました。

当日は、始まる前から子ども達が集まり、10時開始と共にまずは夏らしく「水ヨーヨー釣り」と「スーパーパーボールすくい」を楽しみ、「かき氷」で一休み。水分補給をしながら、「手作りボーリング」や役員の方々が趣向を凝らしたダンボール箱に大小の穴をあけた、「ダンボール投げ入れ」などそれぞれ思い思いの催しを楽しんでいました。最後は全員が参加して「スイカ割り」と「ビンゴゲーム」で大いに盛り上がりつきました。

終了後は、子どもたちと親御さん町会役員も一緒に懇親会が行われ、夏祭りは終了しました。

子どもたちが喜ぶ顔を思い浮かべながら準備いただいた皆様、本当にご苦労様でした。同じ町会で育った子どもたちが、楽しく思い出に残るような行事となったのではないかと思います。

第七町会 増塩 信俊

内田トウモロコシもぎ取りまつり

8月11日、第10回「トウモロコシ もぎ取りまつり」が馬場家住宅前の畑で行われました。

天候にも恵まれ、参加人員は過去最高の約四百名、受付待ち時間20分の大盛況でした。1人五百円でマックコーンというトウモロコシ10本を直接もぎ取り持ち帰る事が出来る為、子ども達には良い経験になったと思います。

参加者の中には、以前自宅でトウモロコシを生産していたが、もぎ取り祭りのトウモ

ロコシの味の良さとハクビシオン被害などから、毎年参加する事を楽しみにしている方もおられ、毎年無くてはならない行事に定着していると感じました。

又、内田地区の畑が荒廃しない様に、主催して頂いた農事組合法人内田営農のみならず、今後開催される「ブルーベリー」「野沢菜」にも期待いたします。

第八町会 小林 紀男



水生昆虫観察会

8月26日(土)、内田公民館主催の水生昆虫観察会が行われました。今年も信州大学の藤山静雄先生に講師をお願いしました。

参加者全員で塩沢川へ行き、子どもたちの手で十数種



類の水生生物が採取され、藤山先生の指導のもと観察と学習が行われました。多くの種類の生き物が見られ、内田地区の水質の良さがうかがえます。天候にも恵まれ、にぎやかで和気藹々とした観察会になりました。



つれづれ編集記

先日、甥っ子と島内の「ライラ松本」に行ってきました。

混雑を避け、お盆明けに行ったのですが、まだ子どもたちは夏休みということもあり入場券を買う時点で長蛇の列でした。結局入るのに30分以上かかりました。

いつもはプールで遊ぶだけ

ですが今年は泳ぎを教えるのが今年という事なので「水泳教室」を始めました。結果は少し長く泳げるようになったかな？来年の課題です。

毎年何年か続いている甥っ子との恒例行事ですが、大きくなりいつ「一緒に行かない」と言われるかと思うと少し寂しく感じます。

第三町会 中村 貴光